

# 三島の湧水群を訪ねて

日時：2022年5月23日（月） 晴 やや健脚 26500歩 17km

集合：JR三島駅改札9時10分

コース：三島駅→楽寿園→清住緑地→丸池公園→国道1号下トンネル→柿田川公園→第1展望台→  
第2展望台→徳倉橋（狩野川）→本城山（標高76m）公園（昼食）→徳倉橋→柿田橋（柿田川）  
→溜池百選中郷温水池→源兵衛川→三石神社→三嶋大社→文学の道→三島駅

参加者：常盤 河野 市村 風間

三島市を歩くといたる所で湧水を見ることができます。この湧水は、三島溶岩流の中を流れて湧き出ています。三島溶岩流は、約1万年前に富士山が噴火して溶岩流が現在の三島駅周辺まで流れてきました。水をよく通す性質を持っていることから、富士山や御殿場などで降った雨水が地下にしみこみ、溶岩流の中を「水道」として下流に向けて地下水が流れ、楽寿園の小浜池や柿田川の源流などで湧き出ています。

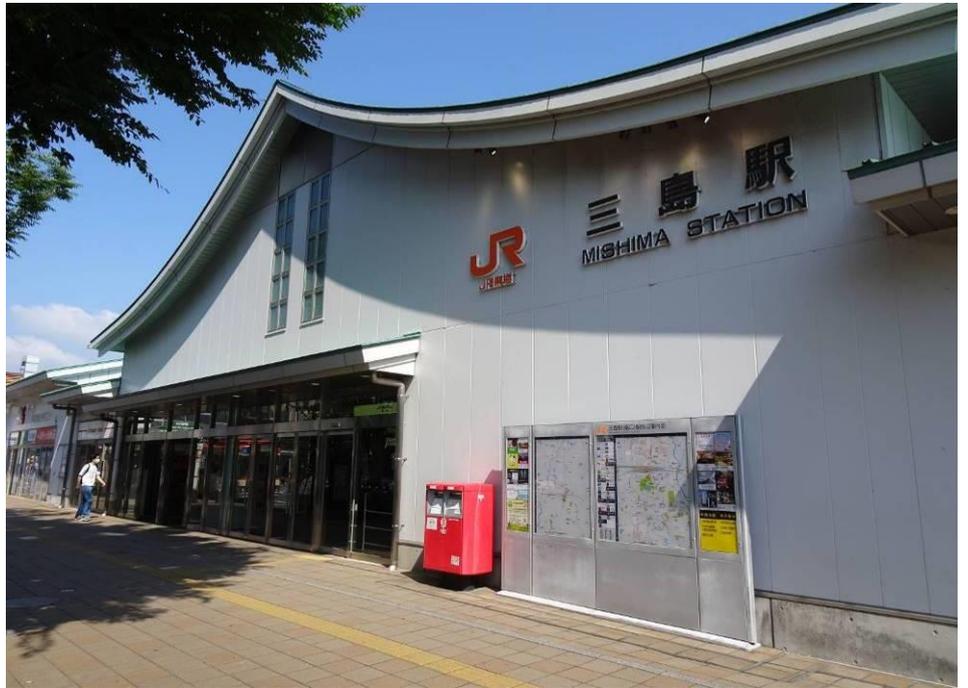
今回の「三島の湧水群を訪ねて」は、2014年5月18日に吉野さんがリーダーで行った「三島の湧水群を歩く」とほぼ同じコースで計画しました。三島駅から南南西の方向へ進み、丸池公園～柿田川公園～標高76mの本城山公園まで歩き、そこから少し東へ歩き、北上して中郷温水池、源兵衛川と歩き、三嶋大社で参拝、文学の道で三島駅に戻る17kmのやや健コースです。

写真は柿田川公園第2展望台製紙工場井戸跡、富士山の伏流水が地下からこんこんと湧き出て、右の方向にあふれ出ています。



## 富士山と三嶋大社をイメージした三島駅駅舎～楽寿園 ストレッチ

JR三島駅南口改札9時10分集合、南口しかないと思っていましたが、集まってから新幹線側に北口改札があることに気づきました。南口駅舎は富士山と三嶋大社をイメージした造りで「中部の駅百選」に選定されています。西隣に観光案内所、伊豆箱根鉄道三島駅舎、JRと伊豆箱根鉄道の線路は繋がっており特急踊り子号が修善寺駅まで運行しています。駅前広場は木立やベンチがあり落ち着いた雰囲気です。駅前の信号を渡ったところが楽寿園。三島市の有料施設で、広大な敷地に小浜池や庭園、動物広場などがあります。この日は月曜日で休園日、駅前口入口広場をお借りして、河野さんのリードでストレッチを行いました。



## 楽寿園 9時35分～「案内」発見～10時25分 伏流水湧き出る清住緑地

楽寿園を9時35分にスタート、清住緑地をめざします。まずは地図を頼りに商店街、住宅街を進みます。案内板などは見あたらず、宅配便の女性に道を聞き、栄町まで来たところで鉄塔のところに「案内」を発見。さらに進むと道路に書きこまれた「案内」、清住緑地に近づいたと思いきや行き止まり、思案気になっていると、年配の男性が道を教えてくれました。どうやら曲る道を通り過ぎたようです。先行して歩いていった風間さんが道路に書かれた「案内」を発見。脇道に入って10時25分、ようやく清住緑地に到着しました。展望台から下を見るといたるところから富士山の伏流水が湧き出て、池の水は透きとおっています。



## 清住緑地～丸池公園～国道1号下トンネル～11時15分 柿田川公園

清住緑地は市街地の中にある遊水地で、境川が刻んだ谷の中に富士山の溶岩流の中を通過してきた地下水が湧き出しています。境川は、かつて駿河国と伊豆国を分けた境界でもありました。緑地隣りは農業用貯水池の広い丸池で、水を満々と蓄えていました。丸池を出て住宅街を抜け、交通量の多い国道1号へ出ました。国道下の地下道を通して南側へ出たところが滝田川公園です。時刻は11時15分になっていました。



## せせらぎ広場～第1展望台～第2展望台～貴船神社～湧水広場木道

柿田川公園入口のせせらぎ広場で記念写真、噴水が勢いよく噴き出していました。第1展望台へ、三島溶岩流から富士山の伏流水が湧き出ている柿田川の源流が見えました。柿田川は、「21世紀に残したい日本の自然百選」「日本の名水百選」などに選定された日本3大清流のひとつです。せせらぎ広場裏手では、子どもたちが歓声をあげて水遊びをしていました。第2展望台へ、昔の製紙工場井戸跡から水が湧き出ている、陽の光があたりブルーの色がきれいです。私たちの後に団体客が訪れ「綺麗」と魅入っていました。貴船神社を經由して湧水広場へ、木道を散策します。柿田川の水面の高さまで下りてきました。



## 駐車場～徳倉橋～12時40分 本城山公園 昼食 360度のパノラマ

湧水広場から階段を上って11時45分、駐車場へ出ました。自動車道を南へ進み、本城山公園をめざします。狩野川に架かる徳倉橋を渡り、河原左岸を下流へ歩いて行きます。河原から山道に入っていくと、8年前に歩いた記憶がよみがえってきました。案内図で公園全体を確認して上って行き、12時40分に東屋がある標高76mの山頂に到着しました。ここで少し遅めの昼食タイムです。展望塔に上ると360度のパノラマが広がっていました。北東から南にかけては箱根連山から伊豆の山々、北の方向に三島市街地、眼下には柿田川が狩野川に合流する地点が見えます。富士山は残念ながら雲にかくれてしまっていました。



## 本城山公園～柿田橋 眼鏡橋～溜池百選中郷温水池 ハコネウツギ

山頂に「戸倉城址」の説明板があり「戦国時代北条氏綱（1486～1541年）が、ここに戸倉城を築いた」と書かれていました。下山は南側へ下りて徳倉橋を渡りました。狩野川右岸を下流へ歩き、住宅街を抜けて柿田川に架かる柿田橋へ。橋上から、明治42年に竣工されて今は崩れてしまっている眼鏡橋、その下流に狩野川へ合流するところが見えました。柿田川は、全長1.2kmの日本一短い一級河川です。市街地を東へ進み15時5分、溜池百選中郷温水池へ着きました。水分補給の小休憩です。池辺にピンクや白色の花が群生していました。常盤さんが「ハコネウツギの花よ」と教えてくれました。



## 中郷温水地～源兵衛川水辺の木道&飛び石～三石神社時の鐘～鰻店

中郷温水池から国道1号を渡り、楽寿園小浜池の湧水を源流とする源兵衛川に入りました。バードウォッチングをしている人がカメラを構えていて、撮影ポイントの小枝を見えています。青と赤のコントラストがきれいな鳥が止まりましたが、みなさんが待っているのはカワセミのようで、イソヒヨドリと教えてくれました。木道、飛び石の風情ある水辺の道を上流へ歩きます。子どもたちが水遊びをされていて、ザリガニ、エビ、ドジョウが捕れていました。水辺から上に出ると三石神社の時の鐘があり、ベンチでくつろいでいる人がいます。神社を出た左横に鰻の有名店があり、夜の開店は17時、きっとお客さんで賑わうのでしょう。



## 源兵衛橋～三島大社～文学の道～桜川～白滝公園～17時00分 三島駅

神社を出た右横の源兵衛橋を渡り商店街を東へ、歩道のところに白、ピンク、赤の綺麗な花が飾られています。「晴耕園種苗店」という花屋が飾っているのでしょうか。16時30分に三嶋大社へ到着、参道脇には「北条義時ゆかりの地」の幟旗を立てられていました。参拝をして三嶋神社を出ます。「三島水辺の文学碑」のある文学の道を上って行くと、電線にツバメがとまっていたのでパチリ。桜川が流れ出てくる白滝公園にかわいらしいモニュメントがありました。商店街の道を上って、17時丁度に三島駅へ到着しました。



## 2万6500歩17km 富士山の伏流水湧く三島ウォーキング下見

この日の三島市の最高気温は26℃と夏日、汗ばむ陽気でしたが川辺はいくぶん涼しい風が吹く、2万6500歩17kmの富士山の伏流水湧く三島ウォーキング下見でした。

(いちむら)